

アジア新鋭デザイナーファッションコンテスト

一 大会概要と総括

アジア新鋭デザイナー
ファッションコンテスト
ASIA & PACIFIC
EMERGING DESIGNER
FASHION CONTEST



主催：一般社団法人ファッションデザイナー育成推進協会
運営：金漪国際株式会社

目次

- (一) アジア新鋭デザイナーファッションコンテスト
- (二) 大会の特色 — スマートインタラクティブ APP 導入
- (三) 参加資格と規模
- (四) 競技プロセス
- (五) 審査員と賞
- (六) 大使館と公式サポート
- (七) 2024 年大会総括

(一) アジア新鋭デザイナーファッションコンテスト

(1) 主催：一般社団法人ファッションデザイナー育成推進協会
運営：金湊国際株式会社

(2) 決勝大会の日程・会場

日程：2025 年 11 月 24 日（祝）

会場：〒106-8541 東京都港区六本木 6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ



(図 1) 会場所在地ビル

六本木は、アジアのファッションとクリエイティブカルチャーが交差する拠点であり、独自のアートな雰囲気と国際都市としての洗練された空気感が、本大会に豊かな人文的背景とグローバルな視野を提供します。

(3) 大会のコンセプト・ポジショニング

「アジア新鋭デザイナーファッションコンテスト」は、新鋭のデザイナーを発掘・支援し、国際舞台でクリエイションと専門性を発揮することを目的としています。

国際性：アジアを軸に世界各国から新鋭デザイナーが集う国際的ファッションコンテスト。

専門性と影響力：産業界・学術機関・業界団体の後援を受け、学術的評価と産業的認知の両面を備える。

若手デザイナーの登竜門：受賞者には国際的なコレクション参加やメディア露出の機会を提供。

地域的特徴：「アジア文化交流 × 国際的ファッション革新」をコアに、多文化的な創造対話を推進。

(二) 大会の特色 — スマートインタラクティブ APP 導入

本年度の大会では、スマートインタラクティブ APP を導入：

国際的な交流と観覧体験をさらに深化させるため、本大会ではスマートインタラクティブ APP を特別に導入し、従来のファッションショーとデジタルテクノロジーを融合。より没入感のある、オープンで双方向的な交流プラットフォームを創出します。

スマートインタラクションと会場体験：

(1) リアルタイムスキャンと解説：

観客はスマートフォンで作品を撮影・スキャンすることで、デザインコンセプト、素材の出所、クラフトディテールなどの情報をリアルタイムで取得し、作品への理解を深めることができます。

(2) 多言語対応：

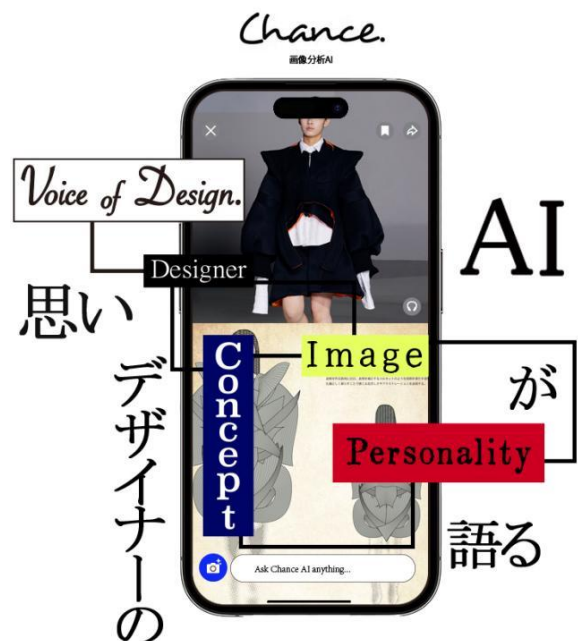
APP は多言語インターフェースを備えており、言語の壁を取り除き、異なる文化的背景を持つ観客もデザインの本質を深く理解できるようにしています。

(3) 文化交流と比較：

観客は APP を通じて各国の出場者によるデザインコンセプトを閲覧し、文化の違いや美意識の衝突を直感的に体感することができます。

(4) 拡張と共有：

大会終了後も APP 内の情報は引き続き閲覧可能で、オンラインでの共有にも対応しており、デザイン作品の影響力を継続的に広げることができます。



(図 2) インタラクティブ APP 使用イメージ

スマートインタラクティブ APP の導入は、国際的な文化交流を促進し、観客が各国のデザイン言語や創作背景をより深く理解する助けとなります。あわせて、会場での没入型観覧体験を強化し、作品と観客とのつながりをより緊密なものにします。

さらに APP は、アカデミア、ブランド、デザイナー、観客をつなぐ多方向的な交流プラットフォームとして機能し、デザインの価値を拡張・共有する新たな場を創出します。

(三) 参加資格と規模

- (1) 参加対象：デザイン関連学科に在籍する学生
- (2) 参加国・地域および主な学校：
 - 日本：文化服装学院、ESMOD JAPON など
 - 中国：中国美術学院、東華大学 など
 - 台湾：実践大学、輔仁大学 など
 - 韓国：弘益大学、東明大学 など
 - イギリス：ロイヤル・カレッジ・オブ・アート、ロンドン・カレッジ・オブ・ファッション など
 - ポーランド：クラクフ美術大学 など
 - アメリカ：サンフランシスコ芸術大学、ハワイ大学 など
- (3) 本年度は8か国・地域から約300名の応募者が参加。およそ1,000点の作品が競われ、最終的に35名の出場者が異なる国と地域から選出され、決勝大会に臨みます。

(四) 審査プロセス

■ 一次審査（終了）

- (1) デザイン画およびデザインコンセプトシートの提出
- (2) 創造性、完成度、テーマとの整合性を基準に選考を実施

■ 二次審査（進行中）

- (1) 入選者は実物作品を制作
- (2) 審査ではクラフト技術、素材の活用、創造性の表現に重点を置く

■ 決勝大会：2025年11月24日（祝）

- (1) 入選作品を舞台形式のファッションショーにて発表
- (2) 国際的な審査員団による最終審査を実施
- (3) スマートインタラクティブAPPを活用し、観客との交流およびメディア露出を促進

(五) 審査員および賞

審査員紹介

	<p>江角泰俊</p> <p>日本の有名ブランド「EZUMi」のデザイナー。英国ロンドン中央セントマーチンズ芸術デザイン学院を卒業後、「Alexander McQueen」および「Aquascutum」にてデザイナーを歴任し、豊富な国際ファッションデザイン経験を有する。</p>
	<p>中園わたる</p> <p>日本の著名ブランド「CHONO」のデザイナー。東京 ESMOD 卒業後、東京ファッションウィーク出展ブランドのチームに参加。デザイン創作および指導を幅広く手がけ、ファッションの歴史や文化的背景を現代社会の現象と照らし合わせながら、突破口やトレンドを探索。作品を時代とともに進化させることを目指すデザイナー。</p>
	<p>竹内忠男</p> <p>日本「Studio Avenir」代表。京都市立芸術大学卒業後、ユニチカ株式会社に勤務。独立後は日本のクリエイティブトレンド委員会に参画。また、日本文化ファッション研究大学院大学の修士課程指導教員および大学講師を務め、武蔵野ファッション学院でも教鞭を執る。</p>
	<p>梁宇</p> <p>フランスのトップファッションブランド「LOUIS FERAUD」にてデザイナー職を経験。帰国後、東京で自身のブランド「RYO」を設立し、東西の美学を融合した作品で国際的に高い評価を得る。日本のファッション誌『装苑』が授与する「アジアファッションアライアンス賞」など、多数の榮譽を受賞。</p>

賞金設定：

本大会の賞金総額は約 200 万円にのぼり、金賞には 100 万円、銀賞には 50 万円、銅賞には 15 万円が授与されます。

また、上位 3 名の受賞者には海外の国際ファッションウィークに参加し、世界のデザイナーと共に作品を発表する機会が与えられ、国際的な知名度と専門的な影響力の向上が期待されます。

(六) 大使館および公式サポート

支援団体：中華人民共和国駐日本国大使館／文化部

支援形態：2024 年および 2025 年の 2 年間にわたり、公式の支援および後援を受けています。

中華人民共和國駐日本国大使館

中文处援字（2024）第 90 号

2024 年 9 月 19 日

ファッションデザイナー育成推進協会

代表理事 谷守鵬 様

中華人民共和國
駐日本国大使館

「アジア新鋭デザイナーファッションコンテスト」 に対する中国大使館文化部の後援名義使用について

ご依頼のあった本件につきましては、当大使館文化部の後援名義
使用を承諾します。本件開催後、その結果について書面にて報告
させていただきます。

なお、事業計画等に変更が有った場合、速やかにこれを報告す
るようお願いします。

本事業の円満な成功をお祈りします。

以上

中華人民共和國駐日本国大使館

中文处援字（2025）第 060 号

2025 年 7 月 8 日

一般社団法人

ファッションデザイナー育成推進協会

代表理事 谷 守鵬 様

中華人民共和國
駐日本国大使館

「第二回アジア新鋭デザイナーファッションコンテスト」に対する中国大使館文化部の後援名義 使用について

ご依頼のあった本件につきましては、当大使館文化部の後援名義
使用を承諾します。本件開催後、その結果について書面にて報告
させていただきます。

なお、事業計画等に変更が有った場合、速やかにこれを報告す
るようお願いします。

本事業の円満な成功をお祈りします。

以上

(七) 2024 年大会総括

2024 年「アジア新鋭デザイナーファッションコンテスト」では、多様なスタイルと明確なコンセプトを持つ作品が集まり、アジアの新世代デザイナーの創造力と文化的多様性が存分に発揮されました。

厳正な審査を経て、最終的に 24 名のデザイナーが決勝ステージに進出。出場者は国内外の有力ファッションスクール出身で、日本の文化服装学院、東京 ESMOD、杉野服飾大学、中国の北京服装学院、東華大学、魯迅美術学院、イタリアの Istituto Marangoni Milano などが含まれます。

決勝当日には、特別ゲストとして若手ブランド「RYO」による最新コレクションのランウェイショーが行われ、業界関係者、メディア、ブランドオーナー、教育関係者など、約 300 名が参加し、会場は大いに盛り上がりました。

大会後には、中国のメディアで広く報道され、大会が新鋭デザイナーや独立ブランドに国際的な発信の場を提供し、アジアのファッションエコシステムの多様な発展を促進していることが示されました。

2024 年大会の成功は、新たなクリエイティブエネルギーの解放を象徴しており、今後もアジアの若手デザイナーを支援し、才能あるクリエイターが世界とつながる橋渡しとなることを目指しています。

(1) 決勝大会一出場者作品



(図 5) 出場者作品



(図 6) 出場者作品

(2) 特別ステージ：RYO ランウェイショー



(図 7) RYO コレクション ランウェイシーン

(3) メディア取材・報道ハイライト



(図 8) 『日中商報』報道ページ



(図 9) 『網易 (NetEase)』報道ページ



(图 10) 『中文導報』報道ページ



(图 11) 『搜狐 (Sohu)』報道ページ



(图 12) 『時尚生活實驗室』報道ページ



(图 13) 『MSN』報道ページ

お問い合わせ先

公式サイト：<https://www.kini-apedfc.com/>

公式 Instagram：apedfc.tokyo

公式小紅書 (RED)：kinikokul

公式 WeChat：apedfc-tokyo

電話番号：03-6912-2179